

一刀領談



下條正男

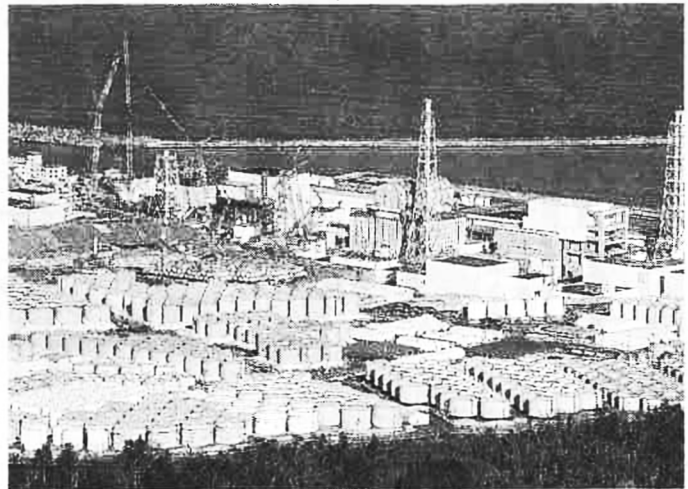
しもじょう・まさお 長野
出身。国学院大学院博士
課程修了。1999年から拓
殖大教授を務め、2021年
3月末で退官。現在は島根県
立大と東海大の客員教授。島
根県の第5期竹島問題研究会
の座長を務める竹島研究の第
一人者。23年3月末まで本紙
客員論説委員を務めた。73歳。

韓国の尹錫悦大統領は、
中国の従属から自立の道を
歩み始めた。だがその歴史
的意義について、日本の国
會議員諸氏は理解している
だろうか。

歴史的事実として、中国
大陸に新たな王朝が誕生
すると、常に従属を強い
られたのが朝鮮半島であ
る。それが今また中国の台
頭により、その歴史が繰
り返されようとしている。
問題は大国となった中国
の歴代王朝が、歴史的に
「道義の邦」という意味で
の大国ではなかった事実
にある。

そのため朝鮮半島では、
伝統的に大国に事(つか)える
という意味で「事大主義」
の道を選んだ。「事大」に
は、大国が小国に事(つか)え
るという意味の「事小」も
その半面にあったが、中国
の歴代王朝には「事小」の
観念が希薄だった。
この「事大」と「事小」
については、『孟子』とい
う本の中で、斉の宣王が孟
子に「隣国に交わるに道あ
るか」と、交隣の方法を質
問した際に、孟子がこう答
えている。隣国との外交で
は「仁者だけが、大国)を
以て小(国)に事(つか)えること
がで(き)」、「智者のみが、小
を以て大に事(つか)えることが
できる」として、大国が小国
と交際する際は「仁」(道
義や思いやり)が欠かせず、
小国が大国と交わるには
「智」が必要だとした。

似非大国と交わる日韓



東京電力福島第1原発の敷地内
に並ぶ処理水のタンク=1月

国会議員に「智」あるか

手段選ばぬ中国

だが、近年の中国を見る
と、「大国」らしからぬ振
る舞いが目立つようになっ
た。コロナ禍の際は、日本
に輸出されるべきマスクの
移動に制限をかけ、東日本
大震災で被災した福島第1
原発の処理水の海洋放出に
も、中国政府が率先して反
対しただけでなく、日本産
海産物の放射線調査の実施
を要求するなど、実質的な
輸入阻止に動いている。福
島第1原発の処理水は、保
管タンクが満杯に近づいた
ため、国際基準に従っての
海洋放出だった。中国政府
はその処理水を使って、日
本を牽制する外交カードと
したのである。

さらに中国は、歴史的に

島と台湾は、日本の植民統
治を通じて、中央集権的な
「独裁体制」から地方分権
的な「自治」の体制に移行
していた。独裁がよいか、
地方自治がよいか。それ
は国民が決めることで、中
国ではない。

「お花畑の住人」

この時に日本だけが「お
花畑の住人」でいることは
できない。小国が似非大国
と交わるには「智」が欠か
せないからだ。韓国に尹政
権が誕生して日韓関係は大
きく変わったが、日本は旧

中国領ではなかった尖閣諸
島周辺の海域に海警局の艦
艇を出没させ、挑発行為を
繰り返して既に10年。それ
は2012年9月、時の民
主党政権が尖閣諸島を国有
化したことが発端だが、そ
の時もその報復としてレア
アースの対日輸出を止め、
日本人社員を拘束した。近
時の中国は目的のためには
手段を選ばない。もはや大
国の所作ではなく、道義的
には、小国のそれである。

中国が形だけの大国となっ
て覇道を歩むのは、孔子が
理想とした儒教社会ではな
く、歴史的に中央集権的な
法家思想の社会だからだ。
韓国の尹大統領が中国の
従属を嫌う理由も、中国が
清朝以前の覇道を歩み始め
てからである。その朝鮮半
島問題が日韓を離間させる
政治的課題となつて久し
い。だが、日本の国会議員
諸氏に、竹島問題を解決す
る「智」はあるだろうか。

一方で、韓国には昨年10
月、西大門から永登浦に移
転した「独島体験館」があ
り、既に16万人近くが入館
し、週末には千人から13
00人が訪れるという。竹
島問題が日韓を離間させる
政治的課題となつて久し
い。だが、日本の国会議員
諸氏に、竹島問題を解決す
る「智」はあるだろうか。

＝随時掲載＝